



おかざき まさずみ  
**岡崎 正淳**  
 誠友会  
 (45分)



**学校再編後の地域づくりは**

**問** 今春、5つの学校が開校した。

一方で、閉校となった学校の跡地活用については各地域で検討委員会を設置して議論を進めることになっている。たくさんさんの卒業生を輩出し、さまざまな教育活動や行事が行われてきた地域の記憶が詰まった大事な場所であるため、有効な活用策を期待するが、現在の取り組み状況と今後の展望は。

**答** 東村地域では地域と行政が協議を進める中でサウンディング調査などを行った後、協議会を立ち上げて議論を続けている。内海および内浦地域は新たに設置した協議会において、能登原地域はまちづくり推進委員会と、それぞれ協議を進めている。

今後は、住民同士の活発な議論から生まれる地域の声をしっかり受け止め、地域の特色を生かしたものであるよう協議を進める。



閉校した内海中学校



あらい たまき  
**荒玉 賢佑**  
 誠友会  
 (50分)



**築城400年を迎えた福山城は**

**問** 今後の活用は。

**答** 福山城への玄関口となる北口スクエアや全国唯一の鉄板張りが見える天守の北側など、新たなスポットが加わった。さらに今後実施する城泊をはじめ本市ならではのエリアMICEの魅力を発信することで、福山城周辺の回遊性やにぎわい創出にもつなげていく。

**新型コロナウイルス感染症は**

**問** 後遺症に対する認識と対策は。

**答** 罹患後の症状がある人を適切な医療につなげることが重要と考えている。後遺症を疑う症状がある場合の対応として、まず身近な医療機関を受診し、必要に応じて後遺症連携病院を紹介している。

また、後遺症に対する相談対応と情報提供を行い、罹患後の支援を行っている。



城泊の部屋のイメージ



たぐち ゆうじ  
**田口 裕司**  
 誠友会  
 (50分)



**幼保小連携の取り組みは**

**問** 小学生の学力に関しても、遊びや体験を通じた幼少期の学びが大変重要であると考え、パイロット校で幼保小連携が進められているが、目的は。

**答** 今年度、自発的・創造的な遊びや体験を通じた学びを基盤に、すべての子どもたちが自己を発揮し成長することを目的として、私立の幼稚園、保育所、認定こども園なども参加する幼保小連携・接続の体制を整備することとした。5月に、小学校の校長などが参加するキックオフ会をオンラインで行い、各学校の学区を中心に63校区の連携協議会がスタートした。光小学校、緑丘小学校の校区をパイロット校区に指定し、学びの連続性を確保するカリキュラムの開発、実践に取り組んでいる。

幼保小連携教育の充実を通して、さらなる「学びが面白い」の深化に向かって取り組んでいく。



幼保小連携協議会の様子